

2019年3月29日
ソルベイジャパン株式会社

ソルベイが化学の未来を考える
「ソルベイ未来化学コンベンション」を開催
—野依良治氏らが講演—
ソルベイ社 新 CEO も初来日

ベルギーの化学品会社ソルベイの日本法人、ソルベイジャパン株式会社(東京都港区愛宕、代表取締役社長:井本 万正)は3月28日(木)、『ソルベイ未来化学』コンベンション ～Chemistry for the Future～を駐日ベルギー王国大使館にて開催しました。本コンベンションには、ノーベル賞受賞者である野依良治氏をはじめとする一流の科学者や、3月1日にソルベイ社の新 CEO に就任し今回が初めての来日となったイルハム・カドリを含むビジネスリーダーが集まりました。カドリは、気候変動という人類の課題解決に向けて「化学」を中心としたサイエンスが果たす役割について強い期待を示しました。



(左から: Gunther Sleuwagen, Ambassador of H.M. the King of the Belgians, 野依良治科学技術振興機構研究開発戦略センター長, 石塚博昭新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長, Ilham Kadri, CEO of Solvay, Nicolas Cudré-Mauroux, Solvay Group General Manager Research & Innovation, 山口裕視三井物産株式会社執行役員)

本コンベンションは、駐日ベルギー王国大使館とソルベイジャパン株式会社が主催し、一般社団法人 日本化学工業協会、公益社団法人 日本化学会の後援のもとで開催しました。

<お問い合わせ先>

ソルベイジャパン株式会社 特命担当/徳田 潤 TEL : 090-5813-9818 FAX : 03-5470-2761

「ソルベイは、創業者のエルネストソルベイに始まり、155年にわたる研究とイノベーションの歴史において、サイエンス(科学、化学)と産業が人類の進歩に貢献すると確信しています。ソルベイは、日本市場において50年の歴史を有しておりますが、日本の持つ素晴らしい科学技術の力と世界三位の市場規模を考えた時、更に深くコミットすることによって、環境問題をはじめとする社会的課題の解決に向け、産業界や科学界における共有価値(CSV)を創造するパートナーとしての関係を進化・深化したいと願っています。」とソルベイ社の新CEOのカドリは話しました。

日本におけるコミットメントの象徴として、本年1月に国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)とソルベイは、持続可能な社会の構築に寄与する長期開発契約を締結しました。また、2017年には、京都大学の北川進教授が「ソルベイ未来化学賞」を受賞しています。

コンベンションでは、科学技術振興機構 研究開発戦略センター長の野依良治氏、新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長の石塚博昭氏、三井物産株式会社執行役員の山口裕視氏、ソルベイ社CTOのニコラ キュドレ・モルーが、化学の未来をテーマに講演を行いました。

■ソルベイ社 CEO イルハム・カドリ

ストラスブールの L'Ecole des Hauts Polymères で化学工学の学位を取得し、ストラスブールの Louis Pasteur 大学で高分子物理化学の博士号を取得。

2018年12月31日までは、衛生、洗浄液、食品の安全性、感染防止の分野で世界をリードする Diversey の社長兼最高経営責任者。また、米国を拠点とする給湯器の世界的大手メーカーおよびサプライヤー、A.O. スミス の役員でもある。

23年間のキャリアの中で、Shell-Basell、UCB-Cytec、Huntsman、Rohm Haas-Dow Chemical、および Sealed Air などのトップ多国籍企業で、さまざまな役職を歴任。これまで、自動車、航空宇宙、石油・ガス、鉱業、海水の淡水化、建設、消費財、フードサービス、ヘルスケアなどの業界において、研究開発、戦略、ビジネス、デジタル化などを手掛けてきた。更には、複数のM&Aによる変革にも携わる。

2013年に当時の Diversey の所有者である Sealed Air に入社し、Diversey の劇的な改善を主導。会社の業績を伸ばし、2016年にはスピンオフとその後の Bain Capital への売却を主導した。

Diversey では、2013年以降売り上げと利益の年次二桁成長を実現させ、社業はヘルスケアとフードサービスの高成長分野へと拡大。明確な業績目標と報酬制度の設定により、2016年の従業員エンゲージメントは80%へと倍増した。



<お問い合わせ先>

ソルベイジャパン株式会社 特命担当/徳田 潤 TEL : 090-5813-9818 FAX : 03-5470-2761

■「ソルベイ未来化学」コンベンション ～ Chemistry for the Future ～概要

主催： 駐日ベルギー王国大使館、ソルベイジャパン株式会社

後援： 一般社団法人日本化学工業協会、公益社団法人日本化学会

プログラム：

- | | | |
|---------------|----------------|--|
| 16:00 - 16:05 | 主催者挨拶： | 駐日ベルギー王国大使 ギュンテル・スレーワーゲン閣下 |
| 16:05 - 16:10 | 来賓挨拶： | 日本・ベルギー友好議員連盟会長 林芳正 参議院議員 |
| 16:10 - 17:50 | 「ソルベイ未来化学」講演会 | テーマ： Chemistry for the Future |
| 16:10 - 16:40 | 野依良治 | 2001年ノーベル化学賞受賞 科学技術振興機構 研究開発戦略センター長 |
| 16:40 - 17:00 | 石塚博昭 | 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長 (NEDO) |
| 17:00 - 17:20 | ニコラ キュドレ・モルー | Solvay, Senior Executive VP, R&I Group General Manager (CTO) |
| 17:30 - 17:50 | 山口裕視 | 三井物産株式会社執行役員、三井物産戦略研究所代表取締役社長、
日本アスペン研究所理事、元国土交通省観光庁次長 |
| 17:50 - 18:10 | ソルベイ社新 CEO 紹介： | イルハム カドリ, Chief Executive Officer, Solvay |
| 18:10 - 19:30 | カクテルパーティー | |

■ソルベイについて

ソルベイは先端材料および特殊化学会社で化学品の発展にコミットしており、重要な社会的挑戦に取り組んでいます。ソルベイは、多様なエンド・マーケットにおいて世界中のお客様とパートナーシップを組んでいます。製品は、航空、自動車、バッテリー、スマートデバイス、医療機器、採鉱や石油・ガス採取など、その他多くの効率や持続性の向上に使用されています。軽量化材料はクリーナーモビリティを高め、フォーミュレーションズは資源活用を最適化し、パフォーマンスケミカルズは大気や水質を改善します。ソルベイはブリュッセルに本社を置き、61か国に約 26,800 名の従業員を擁しています。(売却予定のポリアミド事業は含まれておりません。)

<お問い合わせ先>

ソルベイジャパン株式会社 特命担当/徳田 潤 TEL : 090-5813-9818 FAX : 03-5470-2761